

# 春高同窓会

令和8年5月7日  
 第56号  
 埼玉県立春日部高等学校同窓会

<発行> 種村 隆久  
 <編集> 関根 務  
 竹村 義人

〒344-0061  
 埼玉県春日部市粕壁5539  
 TEL 048-760-1627  
 FAX 048-760-1628  
 E-mail info@kasuko-dosokai.jp  
 https://www.kasuko-dosokai.jp

<印刷> 望月印刷株  
 さいたま市大宮区桜木町  
 1-195-1  
 大宮ソラミチK0Z 11階  
 TEL 048-741-9300

## 総会 6月28日(日)実施

### 講演は、リハプライムHD(株)代表取締役 小池修氏(高36回)

センターアルホール(音楽ホール)が使用ができないため、春日部駅西口「活樹ふれあいキューブマツナガ」(旧ふれあいキューブ)での開催。



小池修氏

同窓会総会は、左記のとおり

【日時】6月28日(日)

午後1時〜4時

【会場】「活樹ふれあいキューブマツナガ」(旧ふれあいキューブ)  
 【議題】令和7年度事業・決算報告、令和8年度事業案・

## 令和8年度同窓会総会

第35回ホーム・カミング・デー学年  
 (高28・高46・高56・高66  
 定28・定46・定56・定66)

予算案ほか  
 【講演】「社員の幸せを軸にする経営」〜異業種からの福祉事業への参入〜  
 【概要】I. 上場フィットネスクラブ退職からの異業種参入 ①親が倒れたらどうするのか? ②自分の事業で親を護る  
 II. 「敬護」理念経営へのシフト  
 経営の目的は人を幸せにする事 ①理念浸透と人財育成  
 III. 敬護型マネジメントが現場を変える(人財定着の方程式) ①自分自身への敬護 ②利用者さんへの敬護 ③チームメンバーへの敬護 ④管理職の再定義  
 【講師紹介】春高野球部。早稲田大学法学部卒。子会社7社。リハビリ型テニを中心にして全国244拠点。社員400名。第13回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞・「厚生労働大臣賞」、第57回「グッドカンパニー大賞」、第23回「企業家賞」など受賞。  
 『日経スペシャルカンパリア宮殿』(テレビ東京)にて特

## 金融庁長官に伊藤豊氏(高34回)



伊藤豊氏

▼懇親会(HCD学年以外)  
 集。著書:『母ちゃん、ありがとう』(PHP研究所)、『日本一社員が辞めない会社』(ほる出版)

2025年7月、伊藤豊氏(高34回)が第15代金融庁長官に就任した。東京大学法学部卒業後、1989年大蔵省(現財務省)に入省。米コネル大学留学を経て、証券局や税務署長の経験を積み銀行局銀行課課長補佐時代は、平成金融危機の真っ只中。その後も金融監督庁(現在の金融庁)の立ち上げに参画し、財務省大臣官房秘書課長や金融庁監督局長など要職を歴任し

「失われた30年」とも言われる激動する日本経済の最前線で活躍してきた伊藤氏は、高校入学後、青島健太氏(高29回)の中学(草加栄)の後輩ということもあり迷いなく野球部、東大でも、野球部。高校大学を通じて、怪我に悩まされ続けた選手生活だった。大学4年ではキャッチャーで主将としてフル出場。その姿は、大志は必ず成し遂げる「春高魂」そのものといえる。野球部の後輩にも「大風敷でもよいから、どう世の中に貢献したいか、大きな夢を描いて」とエールを送る。

### 紙面の紹介



- 2面 令和7年度事業報告、同決算報告案  
令和8年度事業案、同予算案
- 3面 ◇「ひと列伝」各支部会予定と報告  
◇春高会めぐり「東北春高会」等
- 4面 ◇賛助金納入の方々
- 5面 ◇Dousoukaiトピック ◇会員リーダー  
「金融庁長官 伊藤豊氏寄稿」等
- 6・7・8面 「人物風土記」高32回生  
◇若手OB寄稿「東北大学准教授 内原卓海氏」
- 9面 ◇京都府立医大にて、一之輔・楽生  
2人会開催 ◇OBのお店紹介  
「草加Jazz & drinks Sugar Hill」  
◇「あの頃の粕中・春高」
- 10面 ◇大学入試結果 ◇春高生活躍 等
- 11面 ◇春高生部活動報告
- 12面 ◇OB現場インタビュー「BYD Auto Japan(株)社長 東福寺厚樹氏」 ◇みんなの  
の広場「パンザイ同盟 島田政男氏」等

### 共学化問題

## 「現在地とある懸念」 同窓会長 種村隆久(高27)

一昨年8月、埼玉県教育長の「主体的に共学化を推進する」発言以来、県は共学化に関してほとんど何も情報発信していない。

昨年夏休みに県内9か所で共学化に関する意見交換会を開催したが、その議事録がHPで公開された。参加者のほとんどが現状維持(共学化反対)を支持する発言だったが、その後の県の姿勢や考え方に何か変化はあるのか? 現在地が見えないまま。

一方、昨年3月に策定された「魅力ある県立高校づくりの方針」では、現在131校ある県立高校を令和20年までに112校〜116校に統合再編するとされている。主な理由は少子化(中学校卒業生の減少)。さらに高校無償化が拍車をかける。進学実績が高い私立高校の無償化

が進めば、春高受験希望者の一部がそちらに流出することも当然考えられる。

生徒数の減少に伴う県立高校の統合再編の必要性は理解するが、一方で懸念もある。例えば、今後県教委が統合再編を進めようとする場合、その中に、仮に別学校が含まれていたら、自ずと再編後は共学化になってしまう。別学校の意義や存続の必要性等についての十分な議論を経ずに、半ば強制的に「共学化」されてしまう可能性が考えられないか。県教育長は「共学化については有識者の意見や県民の声を十分に聞いて」進める旨発言した。発言の重みを尊重すべきだ。

「埼玉は日本経済の重要拠点」とも語る伊藤氏の今後の活躍に期待したい。

(内田浩平)  
 P5に伊藤氏特別寄稿



2024,2,10の県教委による春日部高校での意見聴取会(挨拶は県立学校部長)

### 春高同窓会サイトリンク集

トップページ  
 各支部各春高会ニュース  
 OB会ニュース  
 活躍する同窓生  
 特別サイト「多能多彩な同窓生」  
 特別サイト「大人の春高祭2017」  
 「多能多彩な同窓生」への掲載申請、随時受付ます。

### 第11回春高ウォーク 春日部支部主催

実施日 令和8年11月7日(土)  
 主なコース 春日部高校から八幡神社、玉蔵院、最勝院等見学、終了後、ヤマヤにて懇親会。  
 詳しくは同封のハガキをご覧ください。

令和8年度 同窓会事業予定(案)

Table with columns: 年, 月, 日, 曜, 事業名, 備考. Lists scheduled events from April to March.

※音楽ホール改修工事のため、センテニアル定期演奏会(N響)は開催しません。

令和7年度 同窓会事業報告

Table with columns: 年, 月, 日, 曜, 事業名, 備考. Reports on events held from April to March.

令和8年度同窓会会計予算書(案)

《期間》令和8年4月1日～令和9年3月31日

以下の通りご提案いたします

令和8年4月8日
春日部高校同窓会会長 種村 隆久
同 事務局長 竹村 義人

歳入

Table with columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 摘要. Lists income items like fees, donations, and sales.

歳出

Table with columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 摘要. Lists expense items like administrative costs, gifts, and maintenance.

令和8年度「大河滔々奨学基金」予算書(案)

令和8年4月1日～令和9年3月31日

令和8年4月1日現在の基金残高 ¥41,030,140

・収入

Table with columns: No, 科目, 令和8年度予算額, 令和7年度予算額, 比較増減, 摘要. Shows income details for the fund.

・支出

Table with columns: No, 科目, 令和8年度予算額, 令和7年度予算額, 比較増減, 摘要. Shows expense details for the fund.

収入合計 ¥5,530,000
支出合計 ¥5,530,000

令和7年度 同窓会会計決算報告書(案)

《期間》令和7年4月1日～令和8年3月31日

歳入総額 16,709,894円 累計積立金 19,000,000円
歳出総額 14,436,561円 グッズ在庫高 778,220円
差引残額(繰越金) 2,273,333円

歳入

Table with columns: 科目, 予算額, 決算額, 摘要. Reports actual income for the year.

歳出

Table with columns: 科目, 予算額, 決算額, 摘要. Reports actual expenses for the year.

※累計積立金は、周年事業や母校の教育活動支援等に備える費用として充てる。

令和7年度「大河滔々奨学基金」決算報告書

令和7年4月1日～令和8年3月31日

令和7年4月1日現在の基金残高 ¥37,378,345

・収入

Table with columns: No, 科目, 予算額(A), 決算額(B), (B)-(A), 摘要. Shows actual income for the fund.

・支出

Table with columns: No, 科目, 予算額(A), 決算額(B), (A)-(B), 摘要. Shows actual expenses for the fund.

収入合計 ¥6,424,768 支出合計 ¥2,772,973 差引 ¥3,651,795
令和8年3月31日 基金残高 ¥41,030,140
上記の通り、ご報告いたします。

春日部高校同窓会会長 種村 隆久
大河滔々奨学基金運営委員長 坂巻 國男
春日部高校同窓会事務局長 竹村 義人

ひと列伝

伝統の礎を築いた先人たち

今回は戦中戦後に活躍した中21回と22回の足跡を紹介する。

◆中21回(大正12年卒) 埼玉市出身。越谷高校長、岩槻農高校長などを歴任、県教育委員を務めた人望厚い春高教諭 福村実

幸手市吉田出身。東北帝大を卒業。埼玉大で化学の教授、文理学部長を務めた。高校長を歴任 麻生誠夫

越谷市出身。越谷高校長、杉戸農高校長などを歴任、県教育委員を務めた人望厚い春高教諭 福村実

浦和高で生物を指導 松井潔

岩槻市出身。浦和高で長く生物教師を務めた。岩槻・鴻巣・不動岡などで校長を歴任する一方、県高校生物研究会長を長年務めた。退職後は岩槻市教育長として教育行政に貢献した。 田口道夫

幸手市出身。郵便局長を務めながら、日本画院の望月春江、元青龍社の高山無双に師事、本格的に絵の研鑽を積んだ。郵政全国美術展埼玉県展などで入選。幸手文化連盟の会長も長年務めた。 早川優

久喜市江面出身。東大理学部卒、酵素科学分野の権威者で大阪大理学部名誉教授。昭和19年日本で初のペニシリンを作る偉業を成し遂げた。昭和35年朝日文化賞、同43年学士院賞受賞。日米で生化学会名誉会員の榮譽を受ける。 小磯省吾

岩槻市出身。成績優秀で茶目つ気たつぷりな人柄。東大理学部を経て検事として新潟、水戸地裁等で勤務、後に弁護士として活躍。 我孫子栄

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤



中22回大正13年卒業生(會報より) 一同窓会室保管

文化賞、同43年学士院賞受賞。日米で生化学会名誉会員の榮譽を受ける。

岩槻市出身。収集した内外の樹木を集めた樹木園「アリタキ・アーボレータム」を開園。同園は氏の没後同市に寄贈、「越谷アリタキ植物園」として現存。春高旧同窓会館庭園を設計。 有瀧龍男

岩槻市新和出身。日大歯学部卒。春日部市内で歯科医院を開業。本校PTA会長と同窓会長を務める。歯科医師会長、県高校PTA連合会長、県社会教育連合協会会長、県議など歴任。同市の社会教育の発展に生涯尽くした。 君塚蛟

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤



東北春高会

「東北・仙台に東北春高会あり。来たれ春高健児！」

会長・石井宏(高28回)

コンチハ。我が東北春高会は2018年に発足し、毎年10月第一土曜日に杜の都仙台で会合を開催しております。郵便料金高騰の折、開催案内はメールアドレス登録者のみとされていることもあり、例年の出席者数は一桁台ですが、出席者に東北大学教授、医師、農林業のスペシャリスト等がいることから、会合は知的好奇心の刺激の場となっております。以前出席した東北大学現役学生さんも、貴重な話が聞けてよかったですと述べてました。

さて現在当支部ならではの明るい話題があります。2024年春から仙台で本格稼働したナノテラス(3GeV高輝度放射光施設)運営に、当支部会員・新堀雄一さん(高30回)が光科学イノベーションセンターの副理事長として関わっています。この貴重なご縁を生かして、今後は当支部主催の施設見学会ができたかと考えております。

東北の地で懐かしい春高の香りを嗅ぐとともに、一緒に知的体験をしてみませんか?春高卒で、既に東北地区にお住まいの方、就職・転職で来られた方、東北地区の大学に進学されている学生さん、大歓迎です。尚、会合の際に学生さんは学割料金が適用されます。(さすが学都仙台。)



東北春高会事務局=副会長・高橋勝(高31回)、幹事・水田展洋(高49回)

興味のある方は、同窓会ホームページの当会コーナーの専用メールフォームよりお気軽に連絡ください。皆さんとの新たな出会いを一同、心よりお待ちしております。

- 草加春高会 4/29(水)
第38回新緑のつどい草加今様本陣
北川春高会(5/30)かたやま
八潮春高会(5/30)よし寿司
川口・戸田・蕨春高会(6/6)
上尾・伊奈支部春高会(6/6)
上尾「ただ」
春高ヨロバ倶楽部総会 6/13(土)
ドイツ・デュッセルドルフ
「ホテルグリーンコア」
蓮田春高会 9/6(日)「めや」
栃木春高会(10/17)宇都宮
「マイステイズ宇都宮」
北海道春高会(10/17)札幌
神奈川春高会(旧横浜春高会)
11/8(日)横浜中華街「順海閣」



高33回同期会(春燦々会) 11月23日(日)さいたま共済会

「マスターズ甲子園」県予選で決勝まで進出したメンバーからの報告も行われた。バスケットボール部 R8年度、百周年記念



「マスターズ甲子園」県決勝進出報告

令和8年度の各支部会総会及び懇親会の決定している支部会

令和7年度より新たに次の方に入っていたいただきました。 会田篤氏(高56回)

野田支部春高会(11/1)幸楽
東京春高会(11/8)
[WINEHALL GLAMOUR 銀座]
東葛春高会(11/9)健康ウォーキング
南桜井駅より首都圏外郭放水路「防災地下神殿・やまや」
関西春高会(1/17)大阪「心齋橋・大成閣」
白岡春高会開催予定

同期会・部活OB会

日程未定の支部会(昨年度開催日を掲載)

三郷春高会(6/14)美加和
杉戸春高会(6/21)いずみ屋
吉川春高会(6/21)福寿家
宮代春高会(6/26)宮代町立図書館ホール「都古」
岩槻春高会(7/13)ほてい屋
久喜春高会(9/27)三高サロ
大宮春高会(10/11)瑞香楼
大宮春高会(10/11)瑞香楼
東北春高会(10/11)仙台大石屋
葛蒲春高会(10/12)葛蒲「和食キッチンだいら」
春日部春高会(10/19)2/15(日)ヤマヤ新館「楽生師匠高座」
野田支部春高会(11/1)幸楽
東京春高会(11/8)

栗林 徹氏(高25回)
池田岩夫氏(高21回)
岡安誠人氏(高27回)
内田浩平氏(高41回)

野球部OB会記念式典 12月7日(日)ロイヤルパインズホテル浦和で「新しい春高野球部&OB会を目指して」と銘打って開催された。新会長には、青島健太氏(高29回)が、特別顧問に高橋靖氏(高11回)、また、名誉会長には、広島東洋カープ黄金期の一人である木下富雄氏(高22回)。約二百名参加。

独自のな植物園を開園 有瀧龍男

岩槻市出身。収集した内外の樹木を集めた樹木園「アリタキ・アーボレータム」を開園。同園は氏の没後同市に寄贈、「越谷アリタキ植物園」として現存。春高旧同窓会館庭園を設計。 有瀧龍男

岩槻市出身。浦和高で長く生物教師を務めた。岩槻・鴻巣・不動岡などで校長を歴任する一方、県高校生物研究会長を長年務めた。退職後は岩槻市教育長として教育行政に貢献した。 田口道夫

幸手市出身。郵便局長を務めながら、日本画院の望月春江、元青龍社の高山無双に師事、本格的に絵の研鑽を積んだ。郵政全国美術展埼玉県展などで入選。幸手文化連盟の会長も長年務めた。 早川優

久喜市江面出身。東大理学部卒、酵素科学分野の権威者で大阪大理学部名誉教授。昭和19年日本で初のペニシリンを作る偉業を成し遂げた。昭和35年朝日文化賞、同43年学士院賞受賞。日米で生化学会名誉会員の榮譽を受ける。

岩槻市出身。成績優秀で茶目つ気たつぷりな人柄。東大理学部を経て検事として新潟、水戸地裁等で勤務、後に弁護士として活躍。

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤

春日部市出身。東北大医学部を卒業後地元で開業。俳人の厳父を慕い医院には水原秋櫻子ら著名な俳人が来診、句会も開かれた。その中に当時粕中で教鞭を執っていた加藤

賛助金納入の方々(7年度)

7年4月1日〜8年3月31日
○中の数字は納入の年回数
敬称は略

- 中村朝之助1
山本福蔵15
荻野哲夫5、小澤正直7、立花輝一4
深井清司13
荒木貞行20、君塚忠男5、高木秀雄2、西角井正大7、益山貴司9
川上敏夫2、中村嘉男16
秋元輝雄6、後藤均14、高濱彰男11、半田幸平9
梅沢恒夫13、小川隆雄7、小室尚彦3、鈴木徳8、染谷邦臣4、武井章12、田島孝3、藤井克文4、三原謹二郎8
岩井勝治14、小糸博3、佐竹潔9、佐藤勝美9、下津谷秀男3、中田莊三10、中野茂6、林進三4
稲星昭寿8、山本供八8
折原新一7、鈴木孝治6、相島英雄4、田中信之助13、西澤将行8、藤沼貞夫8、村田勸8
磯文雄4、岩崎文庫8、遠藤嗣郎12、大熊樞一5、岡村信行5、塩野正直11、高橋達郎13、田中弘11、中島章二12、中島順6、野口勝治2、堀切和喜16、堀沢秀夫17、松金由忠10、森仁三11、森田武夫17
天野良作8、大塚秀吉12、大森得雄1、奥野明彦4、小澤正男6、齋藤幹雄2、関口博正5、高橋靖14、戸田満

- 三原元三郎9、村山俊一7
榎本和光6、角田功8、上井晴夫3、小森谷明夫2、関根喜代寿5、高野利夫17、森田晏且6、瀧田英夫9、田中靖男15、真々田邦博3、細沼晃16、渡辺和男1
秋間國夫11、秋山幸一13、安孫子征16、菊澤龍三4、小澤章夫9、茂田寿夫7、須田実7、田中芳輝10、松本三千雄6、茂木健司2
榎本善保5、大竹英弘1、坂巻國男16、白石光征13、中島信男11、蓮通世5、松本雅1、森谷明夫11、八木橋通夫6、山本幸義5、渡辺幹雄7
相嶋勝寿5、青木武昭3、石塚碩孝14、大塚徹11、岡田征史16、梶博信11、塚本正18、嶋村豊2、平山忠夫6、吉澤浩司11
落合勝男3、小峰俊厚9、濱野康幸3、増田英男3
大澤初夫6、小柏猛4、小川勉4、川鍋和喜12、倉持敏雄11、小池智修15、小林輝己8、酒井正次10、染谷知英3、鈴木敏仁6、津佐清2、野口浩樹4、橋本久雄7、平野雄一9、堀部和政3、松村茂夫5、渡辺修8
飯田眞一11、石田恵2、岡安正12、並木清3、松本栄一1、三次宣夫7、山崎二4
阿泉栄4、荒井孝9、尾堤信男9、小堤正二4、勝田茂8、金子明2、神田誠7、倉持誠11、小林秀樹12、高野敏夫12、田中謙吉4、松本務5、柳英二郎9

- 井上茂平9、今井一忠5、上村忠男3、卯原義夫6、榎本正4、押田豊14、勝畑篤6、小島省三5、鈴木清9、鈴木潤一6、高橋勇2、高橋照夫3、根本直樹8、野中信孝1、日向英実12、増田豊8、宮本和男12、村田悦一4、山崎和義12、吉田茂7
石井孝2、牛山信康11、大塚茂5、岡村信夫3、草野修三7、久保谷実2、小山由夫10、篠原通8、鈴木孝司2、田中健太郎7、藤間正4、根本稔1、長島光正6、長谷部健一11、藤田英夫1
青柳隆宏9、荻野泰男7、河野秀樹12、木村孔三6、高木学4、高崎実10、中村和弘3、服部敏則6、馬場克浩2、山内裕司4、柳秀明1、山崎孝一4、吉田静那15
荒木弘行12、大塚和彦5、鈴木護4、中山登司男9、沼田邦男5、野口俊男6
青木剛4、赤尾邦彦8、石川伊丹1、笠原勝3、神田進司4、小森谷静男5、鈴木智二8、高津利男6、利根川豊6、戸張正雄17、中野久雄5、野口榮三2、花房信明9、横島慎一2、持田健3、横田良一8
石垣亮一1、大熊那夫紀2、乙部宣広9、川島昌4、栗林徹16、黒須保高2、関根悦夫2、田中茂4、中井邦夫5、蓮見謙司3、浜野邦彦4、山口幸夫3
荒川和幸4、宇田川浩司9、老川勇9、大熊晃6、大関健道7、小川光治10、香川法男7、柿沼一成1、木村義明2、工藤倫郎11、斎藤正美13、杉山修一1、染谷珠樹1、染谷行宏5、高野秀尚8、高橋孝志16、竹村義人13、野崎学9、早川敏夫5、船戸均5、保坂不二夫8、牧野修7、町田洋一7、間中克知4、三ツ林裕巳5、湯本慎一郎5、米川聡彦6、若林孝年4
網谷毅1、新井正美1、磯崎道利15、伊藤文生5、内田道雄6、大沢年一1、岡安誠人12、小林一彦2、椎葉祐司6、清田巳喜男10、関根務5、高木裕之1、種村隆久6、中村幸彦5、長山博8、古橋浩1、松原涉4、横川啓一郎1、吉坂弘明1
新井秀明6、飯田均5、池田常臣15、御古正彦7、大久保実之1、大園和正1、木曾好和1、桑島雅巳7、篠崎登5、東福寺厚樹6、原嶋久光13、松村一郎1、三上良正4
遠藤進3、大淵俊明7、小澤正美3、小見英彰6、金野光男3、杉本孝一郎2、鈴木俊雄5、中島圭一2、笛木大二郎3、前田一郎4、松沼直人8
浅川喜裕13、石井俊一6、石川雅巳5、大石敬10、後上明裕10、小島幸治3、今野彰比古15、杉林直樹4、東坂聡1、橋本浩二1、林宗貴2、前田祐志1、増田行雄4
石山育朗5、岡田俊二3、金井康雄1、佐藤祐二2、佐保和典4、白石晃司2、鈴木勝浩2、中島淳二17
飯島知二5、石川広巳8、小西誠1、斉藤静樹3、坂田恭司6、鈴木幸吉

- 杉山修一1、染谷珠樹1、染谷行宏5、高野秀尚8、高橋孝志16、竹村義人13、野崎学9、早川敏夫5、船戸均5、保坂不二夫8、牧野修7、町田洋一7、間中克知4、三ツ林裕巳5、湯本慎一郎5、米川聡彦6、若林孝年4
網谷毅1、新井正美1、磯崎道利15、伊藤文生5、内田道雄6、大沢年一1、岡安誠人12、小林一彦2、椎葉祐司6、清田巳喜男10、関根務5、高木裕之1、種村隆久6、中村幸彦5、長山博8、古橋浩1、松原涉4、横川啓一郎1、吉坂弘明1
新井秀明6、飯田均5、池田常臣15、御古正彦7、大久保実之1、大園和正1、木曾好和1、桑島雅巳7、篠崎登5、東福寺厚樹6、原嶋久光13、松村一郎1、三上良正4
遠藤進3、大淵俊明7、小澤正美3、小見英彰6、金野光男3、杉本孝一郎2、鈴木俊雄5、中島圭一2、笛木大二郎3、前田一郎4、松沼直人8
浅川喜裕13、石井俊一6、石川雅巳5、大石敬10、後上明裕10、小島幸治3、今野彰比古15、杉林直樹4、東坂聡1、橋本浩二1、林宗貴2、前田祐志1、増田行雄4
石山育朗5、岡田俊二3、金井康雄1、佐藤祐二2、佐保和典4、白石晃司2、鈴木勝浩2、中島淳二17
飯島知二5、石川広巳8、小西誠1、斉藤静樹3、坂田恭司6、鈴木幸吉

- 高根淳7、高橋篤也2、田中和彦17、土門玄4、浜田浩9、吉田寿一7
井坂威人1、岩本敏英12、内田一郎13、岡野豊1、土屋信彦6、中原淳一6、成田元彦3
青木憲司6、伊藤豊7、幸田豊2、小林力3、佐藤充広13、鈴木正則1、染谷幸夫5、竹谷一浩7、田村尚之7、長井勝利3、中野武紀6、橋本浩一2、波多野淳一6、米田豊6
飯嶋藤王4、磯野康博7、小倉貞一郎3、加倉井誠3、菊池幸夫3、桑原隆12、笹原孝太郎1、鈴木寛4、高橋政博8、土田敬之4、平岡正2、福地淳一4、藤田章6、横川昌彦13、横川泰久1
秋山修一6、石井雅弘3、石川健二14、岩崎裕次5、上原哲也4、小野俊一2、佐川恵一3、重田寛之1、島村忠淳5、神能竜知9、富永和男1、宮田靖典5、望月己義1、山田将也13
大芦昭博3、川本滋久12、栗原憲二2、鈴木秀明9、手塚俊郎1、橋本明彦1、穂波俊宏13、松田洋一9、松尾賢治4、水書稔治13、安岡隆一11
合田浩之14、蓬原一茂5、小原光雄1、兼利純作7、小森谷豊12、高橋彰5、福島聖二4、吉田浩明3、横幕勝範1
浅野智明1、岡田了祐9、加藤弘昭17、川邊光一1、栗原智行1、佐久間幹7、高松公武6、戸田重之4、富澤昌雄7、奈良正和1、早瀬川仁1、半田勝也

- 森谷光宏2、吉木岳哉6
柿沼博昭6、加茂統良4、萩野勝行5、早川裕11、森丘保典8
秋庭俊樹8、秋吉崇7、岩上俊哉5、加川世紀2、菅澤務2、竹野弘顕1、浜野陽平4、舞田壯一郎3、吉田晃7
池田隆一郎5、各務五月2、加藤貴紀1、鈴木一隆3、高埜裕明7、中山護2、東秀晃1、矢野浩紀13、吉田和宏4
青木貴彦6、後藤英夫5、渋谷佳孝7、高久仁3、福山一郎2
小山達也1、小山秀之1、西城孝1、並木統9、早坂強4、平山壯一3、安富崇1
落合剛之1、鈴木克弥1、田中拓郎3、田中優8、茅原真澄2、藤原寛3、望月真人5、松沢克明5、柳田善弘1
猪野孝太11、上石唯貴10、北澤武4、安井隆紀7
冲山裕明10、内藤友則2、服部祐也5、樋口直孝1
板橋俊幸5、牛込満5、谷口鉄朗1、中川秀行5、中島基道2、根岸一明5、别所英治1、森田勝7
猪狩芳文4、落合浩之3、柴崎光郎3、高畑明久3、中尾公彦7、真壁功1、村田光央4、山西健一1
伊藤善幸4、江森一雅8、清水章矢10、林弘5、増田真也10、三好七月1、横山孝太郎2
岡田太陽2、清水信幸4、木村健太郎8、佐山雄介7、高柿武志6、長谷部義幸1

- 堀内景介4
角田勇志4、野中瑞1
小野沢徹男9
駿河裕太1、西川大輔2、森本将太3、山崎寧宏4
小原雅史2、二見旅人3、矢崎直人3
清水諒人10
石井照章1、河岸嶺将1、高橋正樹1、成田一輝4
大柿達也2、神谷謙太郎1、新名康礼1、泊太郎9、成田厚志7、増田翔1
板橋貴人3、水野一步3
染谷直史2
岩本洋祐2
佐藤瑞基1、湯澤史5
伊東克樹2
笠井崇弘1、鷲尾誠6
並木耀亮2
鈴木俊也5、豊島圭一郎2
中山弘隆5
太田尚志4
中山遥登1
齋藤榮1、吉川達雄13
並木桂次15
大塚勝久11
石井和男2
宮野芳郎6
《他》ススキマサオ 回の記載がなく不明でした
高27、45、55、65ホームカミングデー参加メンバー
高27、45有志
合計 5百52件
5百22万1千14円
▽同総会費《高33》岡野豊
同窓会事業は、同窓生の寄付で成り立っています。令和7年度も多くの方々から、ご協力をいただきました。



### 安東郁男さん、「ミルクキーン」の品種開発

高32回(昭和55)年卒業

春日部市出身の安東郁男さんは、生物専攻クラスで、部活は柔道部。千葉大学に学び、農林水産省入省。国立研究機関の農研機構で、稲の品種開発研究に従事(農学博士。「ミルクキーン」や「おぼろづき」など育成した約50の品種は全国の産地で生産されている。育種は多くの人の手で、10年をかける地道な仕事だが、生産者や消費者の喜びの声が何よりのやりがい。北海道米の評価を一変させた品種や、食料安全保障の信念で開発した多収品種は、特に評価が高い。需給バランスや温暖化などに社会の関心が集まる昨今、功績は今後も注目される。要職を歴任し、北海道農業研究センター所長で農研機構を定年退職。現在は、公益社団法人JATTFの役員として後進の研究やスタートアップの支援に奮闘中。つ

くば市在住  
春日部市出身の新井和徳さんは、剣道部と書道部に所属。剣道は羽田聡先生、書道は本橋恒雄先生に指導を仰ぐ。両師の影響は絶大で、大学でも剣道部・書道部に籍を置く。というも、羽田先生は頻繁に大学へ稽古に來られ、本橋先生に至ってはその師匠が大学の教授だった。もはや逃げ場のない状況だったと言っ

理学(応用地震学)を専攻。大学で学んだことを社会で活かしたいと東京電力に入社。原子力部門に配属され、柏崎刈羽原子力発電所6・7号機の設置許可申請に係る業務を担当。その後、研究所に異動し、新潟県中越沖地震や東北地方太平洋沖地震など被害の地震の分析、東京湾岸の長期地震動評価や首都直下地震対策など地震災害対策の調査・研究に従事した。研究活動を通じて、学識者や民間企業の研究者・技術者とも交流断るが苦手な性格故か、学術団体の理事・監事なども務めた。また、同窓会の進路ネットワークをきっかけに、春日部高校SSH運営指導委員を三期十五年務め母校の教育活動にも貢献。横浜春高会(現、神奈川春高会)には立ち上げ時から参加し、現在は会長を務めている。横浜市在住。

93年に退職。社費留学中の米国で築いたネットワークを頼りに渡米。紆余曲折を経て2001年シリコンバレーへ移住し、ハブテック技術開発企業Hubtecで市場開発と技術の普及に奔走。スマホ、ゲーム機器、自動車、医療機器の分野で多くの実績を残す。その間、マイクロソフトやソニーとの特許侵害訴訟や和解交渉も経験し、特許ライセン

2010年サンフランシスコで特許リスク管理のスタートアップ企業RPXに参加。NASDAQ上場も実現する。世界のハイテク企業トップ数百社の顧客。顧客企業の特許リスクの低減に貢献している。カリフォルニア州クバティノ在住。

川口市出身の大川昭三さんは、柔道部に所属し宮崎県体に出場。また、文系クラスにも拘らず理系の東京農工大学を受験。林産化学を専攻した理由は「何となく受かりそうだったから」。但し物理も化学も勉強してこなかった為、教授から「共通一次の弊害だ」と嘆かれた。卒業後は十條キ

### 春日部高校 人物風土記

(43)



3年担任の先生方  
後列左より 小川 誠先生・樋口忠孝先生・中村行生先生・新井充司先生・川島秀元先生・石黒隆文先生  
前列左より 芦田川康司先生・島村満彦先生・三輪俊夫先生・小原敏彦先生・三村毅彦先生・小菅泰雄先生

### 梶原聡さん、ジャンボ機の機長

現在は千葉県四街道市に在住。  
さいたま市の加茂下裕さんは東京芸術大学音楽学部作曲科に進学。同大学院修了後は川越市の東邦音楽大学や同附属第二高校で講師をしながら作曲を続けてきた。ピアノのための「多調性の十の練習曲」、フルートとピアノのための「Ballade」、吹奏楽のための「賛歌」、独唱と七絃のための「良寛の二つの歌」、合唱と管弦楽のための交響曲「ケヤキ賛歌」(吉野弘の詩による)など、作品は多数。また、クラシック音楽の魅力を伝えるため自宅でのピアノ教室や公民館での鑑賞講座なども続けている。さいたま市在住。

### 島田 一さん、東京高裁の裁判長

取締役 2022年常勤監査役となり現在に至る。プライベートでは2012年三菱UFJ信託銀行執行役員であった3年2組の同級生肝付正路くん(物故)から声が掛かり、「3年2組の会」と称し、同級生である江浪誠くん、小松崎由くん、柴崎正司くん、鈴木英之くん、吉川淳くんと近況報告並びに健康確認を兼ねた退職後の居場所を見据えた懇親会が今でも開催されている。久喜市出身の斎藤聡さんは高校時代「数学の美しさ」に魅了され数学科への進学を決意。春高で教鞭をとることを夢見て、筑波大学第一学群自然学類に進学。数学を専攻した。大学時代はテニスに没頭し、日の出と日の入りをテニスコートで迎えていたとのこと。教師となつて二校目の越谷北高では十三年間の中で理科設置に携わり進路指導主事を担当するなど活躍。念願の春高には、4校目で赴任し今年で16年目。進路指導の経験を生かし、9年間進路指導

### 高柳昌幸さん(株富士薬品(ドラッグセイムス)社長)

回顧する。早大教育学部に進学し、教育実習で再び春高にお邪魔した。仕事では、ネット証券のSBI証券で投資家に情報を提供していて、時折新聞やテレビの取材に応じたりしている。人に話をするという意味で教育学部は役立ったかもしれないと思つて、春高時代の仲間とつながりが続き、今も飲み会に混ぜてもらっている。そろそろ引退が迫ってきた感で、「ごんたか引退後の人生を御指南下さい」とのこと。市川市に在中。

### 中村紀吉さん 福島第一原発事故処理担当

字総合病院で産婦人科部長として産科医療に従事。神栖市で唯一の産科常勤医として活躍している。茨城県神栖市在住。

旅行、日本画鑑賞を趣味とし、日本酒を好む。現在は豊島区在住。  
旧岩槻市出身の陶(旧姓新井)章司さんは、高校では卓球部に入部したが長く続かず帰宅部となった。スキーがやりたいと北海道大学歯学部に入部し、約半年はスキー場に行き余り授業を受けていなかった。卒業後勤務医の後、川口で開業したが結婚を機に品川に移転。卒業後は、スキーではなくゴルフに夢中になり4つのコース所属し、ゴルフ侍にも出演したらしい。高血圧により眼底出血を患い48歳で歯科医師を辞め、義理母のアパート経営を引き続き50歳で宅建に合格し、アパートの掃除が唯一の仕事らしい。日本酒が好きで、陶芸も始め自分用のくい呑みや片口を作つて毎晩の晩酌を楽しんでいる。今後のゴルフの目標は、唯一クラブチャンピオンが取れていない同期の中島潤君が支配人を務めるフレンドシップカントリークラブでの優勝。現在は、春から秋は北軽井沢

冬は大田区に在住。  
旧与野市出身の鈴木幸吉さん。在学中は弓道部に在籍。一浪後に東大理Ⅱに入学。薬学部卒業後に明治製菓に就職し、4年間の官民共同プロジェクトへの出向を含めて一貫して医薬研究開発に従事。2011年に明治乳業との経営統合により明治製菓のグループとなり、研究企画部長を兼任。共同研究では、ノーベル医学賞を受賞された本庶佑博士と自己免疫疾患治療薬の創薬を実施し、現在臨床試験中。研究にも企業にも大変厳しい本庶先生のスタイルは刺激的であったという。通勤やウォーキング中はオーディオブックを楽しむ。春高の進路トークには二回参加。現在横浜市戸塚区在住。

旧大宮市出身の高柳昌幸さんは、数学研究会に所属し文化祭では学校にあった計算機を使ってバイオリズムによる相性診断プログラムを作つたりしていた。明治薬科大学を卒業後、武田薬品でMRとして5年間勤務し、1989年に家業の富士薬品へ入社。当時は配置販売を主力とし、富山工場を中心に製販一貫体制を整え、事業拡大の真つた

経済新聞社に異動、「日経電子版」創刊事業に参画、その後も一貫して日経の新規デジタル事業に携わっている。現在も、日経のライフ&キャリアビジネス部門にビジネスアドバイザーとして所属。世田谷区在住。

### 越谷市出身の中村紀吉さん

越谷市出身の中村紀吉さんは、東工大卒業後、東京電力で建築業務に従事。2011年東日本大震災後は福島第一原発の土木建築設備の事故処理を担当。東電は春高OBが多く、福島でも共に仕事し、特に爆発した4号機からの使用済燃料の取り出しは、中村さんが建築。後輩の徳森律朗(35回)さんが機械・燃料の責任者を務め、事故後4年弱で完了させた。その後もユニット所長として凍土壁や建屋カバー設置等を統括。定年退職後、原子力損害賠償・廃炉等支援機構に転籍し、執行役員として、福島第一の廃炉戦略を中心になって立案。春高山岳部の友人とは、毎年温泉旅行等を楽しんでいるが、山には登らず眺めるだけとのこと。川崎市在住。

草加市出身の鈴木英之さん春高時代は中村行生先生の下で新聞部で活躍。創立80周年に絡み、諸先輩方にたくさんインタビューしたのを見て、勉強が大変だったが、自由な雰囲気を楽しめたこと

32回生美術絵画作品

草加市出身の鈴木英之さん春高時代は中村行生先生の下で新聞部で活躍。創立80周年に絡み、諸先輩方にたくさんインタビューしたのを見て、勉強が大変だったが、自由な雰囲気を楽しめたこと

草加市出身の鈴木英之さん春高時代は中村行生先生の下で新聞部で活躍。創立80周年に絡み、諸先輩方にたくさんインタビューしたのを見て、勉強が大変だったが、自由な雰囲気を楽しめたこと

草加市出身の鈴木英之さん春高時代は中村行生先生の下で新聞部で活躍。創立80周年に絡み、諸先輩方にたくさんインタビューしたのを見て、勉強が大変だったが、自由な雰囲気を楽しめたこと

草加市出身の鈴木英之さん春高時代は中村行生先生の下で新聞部で活躍。創立80周年に絡み、諸先輩方にたくさんインタビューしたのを見て、勉強が大変だったが、自由な雰囲気を楽しめたこと

草加市出身の鈴木英之さん春高時代は中村行生先生の下で新聞部で活躍。創立80周年に絡み、諸先輩方にたくさんインタビューしたのを見て、勉強が大変だったが、自由な雰囲気を楽しめたこと

橋本浩行さんキャンオンで新型カメラ開発

旧菖蒲町出身の長澤敏夫さんは、吹奏楽部に所属。全くの初心者で入部し、今も当時の曲を聴くと温かな記憶が蘇る。早稲田大学卒業後は旧太陽神戸銀行に入行。就職時には漠然と支店勤務のイメージしかなく、二度の合併を経てニューヨーク現地法人や大和証券との合併会社への出向、さらには金融庁への転籍と、当初の想像を遥かに超える「想定外」の連続であった。主任統括検査官として金融行政の最前線を歩んだ日々を経て、現在は金融スタートアップの日本資産運用基盤および情報サービス企業のQUICKにて、政府の掲げる「資産運用立国」実現に向けたコンサルティングに従事。千葉県松戸市在住。

宮代町出身の橋本浩行さんは、在学中は剣道部に所属。千葉大学大学院修了後、三井石油化学(現三井化学)に入社、30歳でキャンオンへ転じ、研究開発部門の部長として医療診断支援機器や新型カメラの開発を牽引した。日米で60件以上の特許を取得し、成果はNature 姉妹誌にも掲載。55歳からは千葉大学工学研究科客員教授として後進の育成にも携わり、同工学同窓会長も務めた。60歳で一区切りをつけ独立後は技術コンサルティンクを行う傍ら、神奈川の自宅裏山に咲く絶滅危惧種キンランの保護と研究を開始。自ら研究会を立ち上げ会長として活動するなど、「自ら考え動

く」春高の気風を体現し続けている。大学時代の仲間とのバンド演奏も楽しむなど、多方面で活躍中。

岩槻在住、卓球部だった前田正美さんは、高2の夏に見た青春ドラマにはまり教員に最初の授業で「Let's begin」と大きな字で板書したが、反応はイマイチだったそうだ。以下は本人の弁。初任の三郷北では26から3年間進路主事を。バブル絶頂期とジェットコースター並みの崩壊を経験。越谷西では45の時、文部科学大臣優秀教員表彰。三校目で春高に。今の春高生は母校愛に溢れ、(昔と違い?)素直でいい子が多い。昔同様変わった奴もいるが決して排除しない寛容さは受け継がれている。リスペクト出来る沢山の生徒に巡り合えた。春高では個人戦を含め全国に4回、関東に13回出場。中でも団体での選抜(秋田市)出場は快挙だった。現在は再任用で春女に。陸上部主将だった息子が体育科教員で春高に勤務

春日部市出身の南浩之さんは、祖父は粕中、叔父、従兄も春高、弟の南芳雄さん(高34回)も春高の春高一家。剣道部と相撲部に所属し、相撲部で高3時関東大会出場。担任の中村行生先生の勧めと関東大会が縁で、慶大相撲部に入部(理工学部)し、東日本・全国大会等で活躍。個人戦で勝ち上ると、春高相撲部を知る他校OBの応援があり、先輩方の功績に感謝したとい

う。卒業時、国指定の難病に罹ったが、入院二年・療養一年で奇跡的に回復。東京相和銀行に入行し経理部で管理会計業務に従事。慶大相撲部コーチを務めた。学び直しのため慶大大学院経営管理研究科修了後、ベンチャー企業の株式公開業務に従事し、(株)イードア役員。春日部市在住。

松伏町出身の山崎義矩さんは、在学中は剣道部に所属。2年時、家族の急病をきっかけに、いわゆる「救急車のたらい回し状態」を体験したことを契機に、真剣に医学部を志し、北里大学医学部へ進学。卒業後は大病院に残り、救命救急医療、特に脳神経外科を専攻。月に数日しかアパートに帰れない過酷な日々を送りながら、臨床の激務と並行して研究や動物実験、国際的な論文発表にも精力的に取り組む。脳神経外科専門医および医学博士号を取得。40歳を境に救急医療の第一線から退き、以後は地域医療への貢献を目標とする。総合内科を7年間研修後、地元松伏町に脳神経外科・総合内科のクリニックを開業し、現在も院長として診療にあたっている。

(高32回)人物風土記編集委員(協力)



春高祭卒業アルバムより

若手OB 寄稿

東北大学大学院国際文化研究科 卓越准教授 内原卓海(高61回)氏

若手で活躍されている卒業生にスポットを当てたこのシリーズ。今回紹介するのは、国際卓越大学に認定された東北大学で活躍の内原卓海氏。大学での研究内容やこれまでの歩みなどを寄稿していただいた。



【現職について】

第二言語習得研究とは? 私が所属する東北大学大学院国際文化研究科には、大きく三つの分野があり、私はその中の言語系に所属しています。言語系の研究者はそれぞれ言語に関する研究を行っていますが、私は特に第二言語習得研究と英語教育研究に取り組んでいます。「第二言語習得」と聞いても、あまりなじみがないかもしれません。簡単に言えば、「母語を獲得した後に学ぶ言語を、人どのように習得していくのか」を研究する分野です。私はその中でも英語の語彙習得に着目し、「単語の知識は頭の中でのどのように整理されているのか」「なぜ単語を覚えるのが速い人と遅い人がいるのか」「英語を流暢に話せるようになるための最適な語彙学習法とは何か」といった問いを探究しています。言語の習得は脳内で起こる現象ですが、直接観察することはできません。そのため、さまざま

【内原卓海 氏 経歴】 早稲田大学教育学部英語英文学専攻卒業後、レディング大学(英国)修士課程、ウエスタン大学(カナダ)博士課程修了。2021年に早稲田大学理工学術院英語教育センター講師として着任後、2023年より東北大学大学院国際文化研究科講師、2025年より同大学卓越准教授として、第二言語習得および英語教育研究に従事している。

性格は、現在の研究活動にも活かしていると感じています。土日祝日も指導いただいた顧問の鈴木久夫先生、そして遅くまで練習に付き合ってくれたチームメイトには心から感謝しています(永遠に続く私の「ラスト!」に耐えて頂いた後輩には特に心から感謝しております)。その成果もあり、団体戦では本校として数十年ぶりに関東高校新人大会に出場することができました。引退後は、それまで卓球に費やしていた時間をすべて受験勉強に充てました。部活と勉強に全力で取り組んだ、充実した三年間でした。

【大学時代】 留学体験

早稲田大学入学後は、高校時代から目標にしていたアメリカ留学の準備をすぐに始めました。大学2年の秋学期から1年間、オレゴン州の南オレゴン大学に交換留学しました。現地の中学校で教育実習を行ったり、美術の授業でヌードデッサンに挑戦したり、大学外では卓球コミュニティに参加したりと、様々な経験を重ねました。また、さまざまな文化的背景をもつ友人とも出会いました。2011年の東日本大震災の際には、チャリティ活動を通じて地域の方々と交流する機会もありました。この1年間で、知識として学ぶだけでなく、実体験を通して学ぶことの重要性を強く実感しました。その後、さらに海外で学びたいという思いから、イギリスに1年間、カナダに4年間留学しその過程で研究者としての道を志すようになりました。

【高校時代】 卓球と勉強

高校時代は卓球部の部長として、部活動に打ち込んでいました。朝は7時頃から練習を始め、放課後は4時から遅いときには8時頃まで練習し、その後さらに地域のクラブチームで夜10時まで練習していました。帰宅後も、お年玉を貯めて購入した卓球台と卓球マシンを使って自主練習を続けていました。一度夢中になるとことん打ち込む

【研究者としての今後の抱負】

新たな言語研究分野の創出 2024年に東北大学は日本初の国際卓越大学として認定され、私自身も2025年度より卓越准教授として新たな職務に就くことになりました。これからはこれまで以上に第二言語習得研究をさらに発展させていきたいと考えています。現在の目標は、東北大学言語チームを世界トップレベルの研究体制へと発展させることです。特に「脳科学×言語×教育」の融合研究を推進し、人がどのように言語を習得していくのかという根本的な問いに迫りたいと考えています。AI技術が急速に発展する現在、言語研究も新たな段階に入りつつあります。言語研究に興味のある春高OBと、将来ともに研究できる日を楽しみにしています!(令和8年3月)

SSH4期目申請、採択されず

令和6年度に4期目の申請を行ったが採択されず、令和7年度は経過措置校として取り組み、改めて2回目の4期目申請を行ったが、採択には至らなかった。ただ、これまでの実績で認定枠を取付けた。認定枠は3期以上取り組んだ学校に対し独自にSSHの取組を認めている制度で、予算的な支援はないため自校予算で行なわなければならない。

# 高48回 同期落語家、春風亭一之輔師匠と

## 三遊亭楽生師匠による二人会

### 京都府立医科大学にて開催

春風亭一之輔師匠(川上隼一さん)と三遊亭楽生師匠(坪山隆行さん)による夢の共演が、2025年8月28日(木)午後1時から京都府立医科大学図書館ホールで「広小路寄席」と銘うつて開催された。二人による寄席は、平成29年(2017年)6月の同窓会総会で行われて以来、これは、京都府立医科大学教授の木塚雅貴氏(高35)が企画する同大学「広小路キャンパス活性化プロジェクト」の一として開催された。この事業は、大学のもつ資源を広く地域の方々にも提供し地



ホール内で楽生師匠(左)と一之輔師匠(右)

域貢献を進める目的で、2024年3月から実施され、今回で7回目。4回目では、直木賞作家 北村薫氏(高20回)と翻訳家 松岡和子氏による特別

#### 対談一部紹介

(一)は「一之輔師匠、楽は楽生師匠」  
・お互いの落語を聞いて、ここがいいところ  
一「先輩なんです。日大芸術学部、最高学府。高校では同級生なんです。先輩なんです。後輩としては失礼できない。兄さん」  
楽「兄さんなんて聞いたことない(笑い)」



対談 左から木塚教授、一之輔師匠、楽生師匠

一「心の中で言ってますよ。気を使わさせてはいけない兄さんには(笑い)」  
楽「心苦しい。どうする」  
一「明朗、わかりやすい、落語を広めるような窓口になるような楽生師匠が大好き」  
楽「春日部高校落語研究会で、日大芸術学部、毎月会を開く。賞を総なめ。最初はおおきい川上。最近川上さん、すり寄っている感じ」  
一「落語に対して新しい形の第一人者である。各地で評価されている」  
楽「登場人物が生きている。今日も聞いていて勉強になりました。うん、なるほど。2人会は良かった」

(全対談内容は別に後日掲載)

「京都ふるさと」の集い連合会がある。京都府と京都新聞社がスポンサー。そこには全国の都道府県出身者が集う県人会がある。3年前まで無かったのが埼玉を含め3県であった。そこで京都新聞社から埼玉新聞社に相談があり、埼玉新聞社社長関根正昌氏(高29)が木塚雅貴氏に設立準備委員就任を依頼、2023年11月14日(埼玉県の日)に開催された「京都埼玉県人会」設立総会で代表に選任された。現在、30名ほどが入会。連合会では鴨川納涼を毎年8月第一土日に開催。今年から県人会では埼玉郷土の飲食物を出店する予定である。また、京都女子駅伝大会では埼玉県の女子駅伝チームをサポートし応援している。

## OBのお店紹介

### Jazz & drinksの「Sugar Hill」



Sugar Hill お店前

草加駅前草加マールから北東方向に歩いて数分のところにJazz & drinksの「Sugar Hill」のお店がある。オーナーが長谷部健一さん(高21回)。2002年11月、51才の時に

オープンさせた。店長は長女の典子さん。現在は月・金・土・日18:00からお店を開き、プロによるJAZZの生演奏が行われる。品のある洗練された落ち着いたお店の雰囲気の中で、プロの演奏家グループによるJAZZ演奏を、目の前で聴きながら一杯片手に至福のひと時を過ごす。JAZZファンならずとも魅せられるところである。お店ごと貸し切りもOKということと同窓会や様々な団体にも提供できるとのこと。そして長谷部さん自身もプロのドラマー。店の名前の由来は、お店を持つと思った時、本場ニューヨークのものを見に行こうと、大学卒業したばかりの典子さんをつれてアメリカに渡った。当時、同時多発テロの翌年で、日本からニューヨークに行くもの

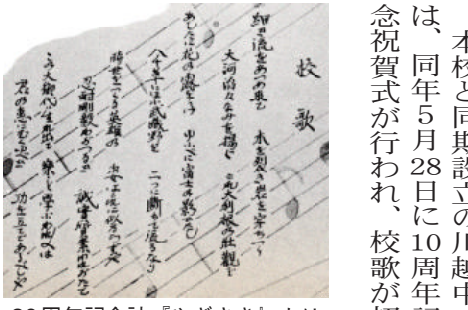


ドラムの前に立つ長谷部さん

はいなかった。そんな中、JAZZ本場のお店を回った。そしてハーレム街にあるSugar Hillという地名から、お店の名前をつけた。  
長谷部さんは実は税理士である。税理士法人L&Cアシスト代表としてお仕事をされている。Sugar Hillは長谷部さんの事務所の隣にあり、会計事務所ももたれ、こちらは次女の方も税理士業務を行っている。  
2004年から草加市文化協会の理事長として「草加ミュージック・フェスティバル」など音楽を中心に草加の文化の発展に貢献してきた。さらに、草加市活性化のための「リノベーションまちづくり」やNPO法人「今様草加宿」理事長としての街づくり活動等もすすめている。  
(令和7年12月)

## あの中の 13 校歌

校歌について再考する  
1999年は開校百周年。その記念事業で演奏された校歌のオーケストラ譜がピアノストの関根綱氏(高52回)によって復元された。その事情は、『校歌斉唱!』の著者渡辺裕氏の寄稿とともに前号に紹介した。さて、春高の校歌は「折原惇一郎作詞、音楽学校作曲」で、1907(明治40)年制定とされている。しかし、その歌詞は「われらがつどふまなびやの…」であり、現行の「細き流れを…」が記録に見え



80周年記念誌『やぎさき』より

るのは1925(大正14)年からである。  
本校は1953(昭和28)年の火災によって多くの史料を失った。『百年史』を見ると10周年にあたる1909(明治42)年3月3日の記録は「本校文部省より選奨されその祝賀会挙行」18字のみ。  
本校と同期設立の川越中では、同年5月28日に10周年記念祝賀式が行われ、校歌が初

めて披露された。その作曲者は音楽取調掛2期生で、音楽取調掛は東京音楽学校の前身、東京音楽学校は後に東京藝術大学音楽学部となった。  
1907年頃から、東京音楽学校の教師が各地の学校からの委託を受けて校歌の作曲に関わるようになった。浦高・熊高の校歌の作曲者も東京音楽学校の卒業生であり、春高も同様に東京音楽学校に作曲を委託したのだろう。  
ところで、1925年頃から歌われ続けている現在の歌詞の作者とされている折原惇一郎先生とはどんな人物だったのか。  
百10周年記念『同窓会名簿』の旧職員の欄を調べると、明治32年3月から在職していた

のは折原先生ただ1人。木寺校長ほか6人は同年4月からとなっている。  
明治32年発行の『埼玉縣職員録』には木寺校長をはじめ明治32年4月から在職した6人と折原先生との計7人が掲載されている。その内、地元埼玉の出身は折原先生だけであり、折原先生は亡くなる1920(大正9)年7月まで終生粕中の教師だった。  
校歌の作詞者として、開校以来一貫して粕中に尽くした折原惇一郎先生以上の適任者は見あたらない。  
なお、現在歌われない4番の歌詞の一節「功を立ててであるべしや」の「立てて」を「立て」とする引用が見えられ、再考を請う。(伊藤文生)

令和8年度、全日制・定時制、教職員人事異動

▼転退職の教職員(敬称略)
《全日制》学校名は異動先
千代卓行(国語) 越谷北高
小泉篤史(化学) 熊谷農高
高野将弘(情報) 県教委
新井直明(公民) 上尾南高
福住謙(数学) 与野高
酒巻愛(物理) 長研(国立科博)
井上武男(事務部長) 伊奈学園
(担当部長)
吉田政博(事務主任) 上尾南高
鎌田一希(事務主任)
越谷特別支援(事務主任)
《定時制》学校名は異動先
福島巖(地歴公民) 庄和高
田中光次郎(保健) 退職
藤森建太郎(理科) 市立川口高
長谷川功(英語) 任期満了
紺野恵美子(英語) 任期満了
酒巻貴美(家庭) 任期満了
高野由美子(養護) 久喜高(定)
角真幸(事務) 上尾高(定)
▼転入の教職員(敬称略)
《全日制》学校名等は異動元
秋葉陽香(国語) 宮代高
齋藤滉平(化学) 久喜工高
権藤正則(情報) 八潮高
田所未羽(公民) 新採用
荻部朝臣(数学) 羽生高
才鷹順平(地学) 新採用
番匠圭子(事務部長) 久喜高
島林佳美(事務主任) 庄和高
橋本玲子(事務主任) 越谷特支
《定時制》学校名は異動元
熊谷大希(国語) 新採用
佐々木努(地歴公民) 草加南高
浦公佑(理科) 県教委
牧田実(保健) 春女高
栗山秀家(地歴公民)
山崎雄一郎(数学)
松添寛之(英語) 草加東高
森智宏(英語) 都立総合芸術高
藤倉健一(家庭) 宮代高
宇賀正子(養護)
小川幸司(事務担当部長)
久喜工高
藤後千恵(給食調理)
久喜高(定)

令和7年度大学入試結果

令和7年度大学入試結果について、進路指導部での3/28までの集計結果になります。進路指導部から話をうかがったところ「現役生は、全般に最後の後期試験までよく粘った、その結果、国立大学合格者は多くなった。最難関

合格数 ( )内は現役

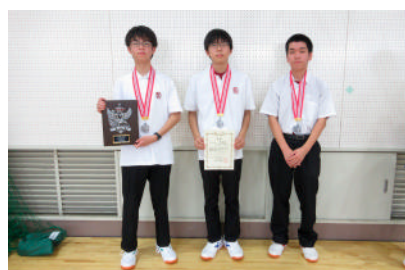
Table with columns for university type (国公立大, 私立大) and university names, with rows for various institutions like 北海道, 東北, 東京, etc., and their respective合格数 and 現役合格数.

活躍する春高生

囲碁部全国で準優勝

2025年(令和7年)8月4日(月)〜6日(水)東京本院で行われた全国高校囲碁選手権大会、団体戦で準優勝。

春高囲碁部は、これまで昭和44年、45年、平成28年、29年に全国制覇しており、今回のチームには、5回目の全国制覇の期待がかかった。



校内表彰式で、囲碁団体メンバー 左から橋本君、横山君、小山君

チームメンバーは主将 横山蒼大君(2年)、副将 橋本航太君(1年)、三将 小山稜太君(3年)。予選を全勝で突破し、決勝トーナメントに進出。選手たちは「振り返ると、県予選会では、浦和高戦はぎりぎり勝利してここにこぎつ

世界選手権大会日本代表として出場

物理部3年の山本陽君。2025年8月14日からリオニア・ピルシウトナスで開催された第22回ARDF世界選手権大会の日本代表として出場した。

春日部高校物理部は、昨年の全国高校ARDF大会で優勝し、さらに全日本ARDF大会においてM19クラスの個人戦で山本君は3位となり、今回のM19日本代表に選出された。M19クラスの日本チームは3名で構成

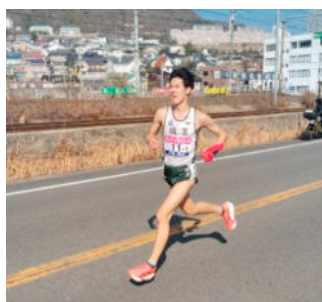


左 大会会場での山本君

り切った。最後に2年になってから初めて負けた。これでは一区切りとなる。今後は受験に向けて集中する。大学でも続けていくつもり。

小山(3年) 決勝は相手が強かった。残念で悔しいが、頑張った。最後に2年になってから初めて負けた。これでは一区切りとなる。今後は受験に向けて集中する。大学でも続けていくつもり。

大江秀弥君(3年) 全国男子駅伝に2年連続出場



1区7キロ区間を疾走する大江選手

で負けていなかった。決勝は中学時代にやった相手でその時は完敗だった。序盤は優勢だったが最後に逆転された。最初に時間を使いすぎた。

令和8年1月18日(日)、広島で第31回全国男子駅伝が行われ、3年の大江秀弥君(78回生)が2年連続で埼玉県代表として出場した。各県高校のエースが揃うスタート1区を任せられた。当日は超高校級選手がレースをハイペースで引っ張る中、上位にくらいつき力走した。

日本選手権出場

水泳部2年の石橋悠君は2月に行われたコナミオープン競技大会の50mバタフライにおいて日本選手権出場の標準記録2分28秒を上回る記録を自己ベスト更新し、3/19から東京アクアティクスセンターで行われる日本選手権に出場した。

石橋君は春高プールで泳げる期間は学校で練習し、冬期間は所属する春日部中央スイミングで練習を行っている。ここに至るまで急遽に力をつけ

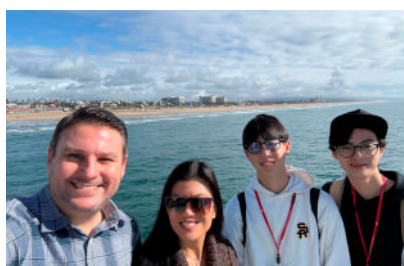


校内壮行会で挨拶する石橋選手

大河滔々奨学基金の支援助成を受け短期海外留学

多くの同窓生からの寄付による「大河滔々奨学基金」、その活用の一つに能力向上プログラム参加助成がある。その助成により海外短期留学した生徒を紹介。

一年生の上林佑也君は、冬休みにアメリカカリフォルニアスへ短期留学。ホームステイで現地学生との交流や様々な体験を行い、語学研修に努めた。帰国後、同窓会室を訪れ「助成いただき大変ありがとうございました。将来に向けて、今回の経験でいろいろなことを学ぶことができました」と感謝の弁があった。



ホームステイご夫婦と(右2人目 上林君)

**R7年度 部活動結果**  
**物理部** 世界大会、陸上部・閉基部・水泳部・書道部・化学部 全国大会、バスケ部・弓道部 東日本大会、卓球部・柔道部・文学部 関東大会に出場

《陸上競技部》▼U18日本選手権 3百m▽渡邊幸輝出場▼U20選抜競歩▽前川洋輔、杉本真吾、吉岡新流出場▼U20クロスカントリ日本選手権

▽大江秀弥出場▼天皇杯第30回都道府県対抗駅伝▽大江秀弥1区出場、総合⑥▼全国高校総体▽渡邊幸輝4百m出場▼大江秀弥5千m出場▽高原侑史5千w出場▽渡邊幸輝4百m③▽大江秀弥5千m③▽澁谷羽琉3千m出場▽高原侑史5千w④▽諸橋亮良円盤投出場▼関東新人大会▽竹村欧介3千m出場

▽吉岡新流5千w③▼関東駅伝▽大江、竹村、吉岡、澁谷、後藤、中安、高野(2年ぶり5回目)②▼県学校総体(総合⑧)▼渡邊幸輝4百①、2百⑧▽大江秀弥5千⑥▽澁谷羽琉3千④▽高原侑史5千w⑥▽吉岡新流5千w⑥▼玉利晃成八種競技⑧▼諸橋亮良円盤投④▼県選抜新人大会▽竹村欧介3千⑤▼中安快飛3千⑧▼吉岡新流5千w①▽前川洋輔5千w④▼真木翔太三段跳⑤▽池川玲太やり投げ⑧▼国スポ県予選▽山下幸成B砲丸⑤▼高校駅伝県予選会▽大江、後藤、吉岡、澁谷、竹村、中安、星野④

《卓球部》▼関東大会県予選団体ベスト8、ダブルス▽東・岡崎組ベスト16▼全国総体県予選団体ベスト8▼関東選抜新人大会出場▼県新人卓球大会団体ベスト16、ダブルス▽

《水泳部》▼県新人大会▽石橋悠百バタ②▼日本選手権▽石橋悠50バタ出場  
 《ラグビー部》▼関東大会県予選ベスト16▼国体地区予選③▼国体県予選ベスト16▼全国大会県予選ベスト16▼地区新人大会②▼県新人大会ベスト16  
 《ハンドボール部》▼関東大会県予選ベスト16▼全国総体県予選ベスト16▼新人大会地区予選④、優秀選手賞▽入江丈仁▼県新人大会ベスト32  
 《バドミントン部》▼関東大会県予選個人ベスト32、団体ベスト16



弓道部、東日本大会出場団体メンバー

《柔道部》▼全国総体県予選個人戦14名出場、団体戦出場▼県新人大会個人戦81kg天池輝翔ベスト4・関東選抜大会出場、73kg小島頼宗ベスト8、60kg廣野悠生ベスト8(8名出場)、団体戦ベスト8

《柔道部 18年ぶりに関東大会 天池選手 81kg級で出場》

《柔道部》▼全国総体県予選個人戦14名出場、団体戦出場▼県新人大会個人戦81kg天池輝翔ベスト4・関東選抜大会出場、73kg小島頼宗ベスト8、60kg廣野悠生ベスト8(8名出場)、団体戦ベスト8

《柔道部》▼全国総体県予選個人戦14名出場、団体戦出場▼県新人大会個人戦81kg天池輝翔ベスト4・関東選抜大会出場、73kg小島頼宗ベスト8、60kg廣野悠生ベスト8(8名出場)、団体戦ベスト8



柔道部、関東選抜大会出場 天池選手(左) 小島選手(右)

《サッカー部》▼関東大会県予選ベスト30▼高校総体県予選出場▼高校選手権県予選出場▼高円宮杯東部支部1部③▼新人大会地区②▼新人大会ベスト16  
 《ソフトテニス部》▼関東大会県予選個人ベスト32、団体

2回戦▼全国総体県予選個人ベスト64▼県選手権個人ベスト64▼新人大会個人ベスト16、団体ベスト32▼県高校シングルス大会ベスト32  
 《バスケットボール部》▼全国総体県予選⑦▼ウインターカップ県予選⑦▼3×3U18県予選①・東日本大会出場

《バレーボール部》▼関東予選地区③▼関東大会県予選ベスト32▼全国総体県予選ベスト32▼選手権地区予選⑤▼選手権県予選ベスト32

《バレーボール部》▼関東予選地区③▼関東大会県予選ベスト32▼全国総体県予選ベスト32▼選手権地区予選⑤▼選手権県予選ベスト32

《バレーボール部》▼関東予選地区③▼関東大会県予選ベスト32▼全国総体県予選ベスト32▼選手権地区予選⑤▼選手権県予選ベスト32



3×3 東日本大会出場チーム 左から上田選手、宮田選手、渡辺選手

《テニス部》▼学校総体県予選シングルス▽鈴木奏音、平川大智、佐久間航平出場、ダブルス▽鈴木・平川組ベスト32、佐藤・佐久間組出場、団体 春日部3・0 松山春日部2・1 星野 春日部1・2 秀明 栄光 ベスト16▼新人大会県予選 シングルス▽佐久間航平、松崎鳳哉出場、ダブルス▽佐久間・松崎組ベスト32、団体 春日部4・1 栄北春日部3・2 岩槻 春日部1・3 浦和 ベスト16  
 《硬式野球部》▼春季地区代表決定戦 春日部4・1 八潮南(県大会出場)▼春季県大会二回戦 春日部1・6 西武台▼高校選手権県大会二回戦 春日部12・2 大宮工、三回戦 春日部6・7 市立浦和▼夏季地区新人大会一回戦 春日部7・0 草加東、二回戦 春日部0・7 昌平▼秋季地区一回戦 春日部18・0 杉戸、代表決定戦 春日部3・2 越谷南(県大会出場)▼秋季県大会二回戦 春日部0・8 昌平  
 《応援指導部》▼野球応援、ラグビー応援、サッカー応援、駅伝応援▼第51回「日輪の下に」(熊谷高校で)▼第65回「臍脂の集い」▼春日部大風マラソン、「アオハル祭」春日部市市制施行20周年  
 《書道部》▼県総文祭▽平塚蒼汰 最優秀賞 2026 全国総文祭秋田大会出品決定  
 《生物部》▼FW・参加講座(春) 葛西臨海水族園見学、(夏) 黒目川生物調査、伊豆大島合宿、(秋) 日本魚類学会年会 高校生ポスター発表参加、(冬) 東京都生物研究会主催生物部交流会参加、第73回日本生態学会大会ジュニアポスター参加  
 《化学部》▼研究▽宮口晴琉、中田温、直井翔真「毛リブレンブルー法における青変速度を用いたリン酸イオン濃度量法の開発」R7SSH 全国生徒研究発表会参加、高校化学グラウンドコンテストポスター出版、探求活動生徒発表会口頭発表参加、理科教育研究発表会ポスター出版▼二校合同サイエンス教室開催  
 《天象部》▼FW 5月城ヶ島FW、8月乗鞍岳合同天体観測(夏合宿)、3月伊豆大島合宿▼研究▽小椋山蒼生、小堀秋「Ergols」を用いた銀河の分布の考察」▽古寺蒼翔、工藤恵太、他2名「都市

区新人大会一回戦 春日部7・0 草加東、二回戦 春日部0・7 昌平▼秋季地区一回戦 春日部18・0 杉戸、代表決定戦 春日部3・2 越谷南(県大会出場)▼秋季県大会二回戦 春日部0・8 昌平

《応援指導部》▼野球応援、ラグビー応援、サッカー応援、駅伝応援▼第51回「日輪の下に」(熊谷高校で)▼第65回「臍脂の集い」▼春日部大風マラソン、「アオハル祭」春日部市市制施行20周年

《書道部》▼県総文祭▽平塚蒼汰 最優秀賞 2026 全国総文祭秋田大会出品決定

《生物部》▼FW・参加講座(春) 葛西臨海水族園見学、(夏) 黒目川生物調査、伊豆大島合宿、(秋) 日本魚類学会年会 高校生ポスター発表参加、(冬) 東京都生物研究会主催生物部交流会参加、第73回日本生態学会大会ジュニアポスター参加

《化学部》▼研究▽宮口晴琉、中田温、直井翔真「毛リブレンブルー法における青変速度を用いたリン酸イオン濃度量法の開発」R7SSH 全国生徒研究発表会参加、高校化学グラウンドコンテストポスター出版、探求活動生徒発表会口頭発表参加、理科教育研究発表会ポスター出版▼二校合同サイエンス教室開催

部と郊外における光害の影響の比較」▼東暖太「W. Uringの光度変化について研究してみた!」県教育振興展地区展 出展

《物理部》▼22nd IARU World ARDF Championship in Lithuania▽山本陽 出場▼全国高校ARDF大会 スプリント団体①、個人▽鹿瀬悠斗①、石附茂樹③、齋藤慶介④、山本陽⑥、吉田真太郎⑧、クラシック団体④、個人▽齋藤慶介②▼全日本ARDF大会クラシック 3.5MHz帯①、八木奏多②、安達陽史④、1MHz帯▽西山正太郎④▼4校対抗ロボットコンテスト春高祭▽高山耕太郎、大井悠示①、浦高祭▽齋藤慶介、八木奏多①▼県無線CW競技大会個人▽安達陽史①、石附茂樹②、齋藤慶介④、西山優⑥、団体A②、B③

《演劇部》▼県高校総文祭・演劇祭中央発表会「For You, For Me」(生徒創作)▼地区秋季発表会 創作脚本奨励賞 中央発表会へ推薦▼地区春季発表会「Only Boys」(生徒創作)▼将棋部▼県高校将棋王位大会個人A級▽山本満喜ベスト8

《囲碁部》▼第49回全国高校囲碁選手権団体②、個人戦▽横山蒼大ベスト16▼第49回全国高校囲碁選手権県大会団体①、個人▽横山蒼大③▼全国総文祭県代表選考会▽橋本航太③▼第41回関東高校囲碁選

《囲碁部》▼第49回全国高校囲碁選手権団体②、個人戦▽横山蒼大ベスト16▼第49回全国高校囲碁選手権県大会団体①、個人▽横山蒼大③▼全国総文祭県代表選考会▽橋本航太③▼第41回関東高校囲碁選

手権団体②▼全国高校囲碁選抜大会団体④▼第41回関東高校囲碁大会団体②、個人▽橋本航太③、九路盤▽北崎友彬③

《写真部》▼全国高校総文祭県写真展▽池津聡志奨励賞▼県高校写真連盟写真展▽大和田直樹奨励賞

《吹奏楽部》▼さいたまアンサンブルフェスタ県大会金管8重奏 金賞 奨励賞、クラリネット5重奏 銀賞▼JBA管打楽器ソロコンテスト県大会クラリネット 銅賞▼県吹奏楽コンクール地区大会高校A 銅賞▼県アンサンブルコンテスト地区大会 打楽器4重奏 銀賞、木管7重奏 銀賞▼他、定期演奏会、高校音楽祭等に参加

《音楽部》▼県合唱コンクール高校の部 優良賞・奨励賞▼県ヴォーカルアンサンブルコンテスト高校の部 優良賞▼他、定期演奏会、県内男子校6校演奏会等に参加、テレビCMおよび情報番組「マチコミ」出演

《文学部》▼関東高校文芸大会▽坂東優弥出場▼県高校生文芸コンクール参加  
 《JRC部》▼文化祭東北大地震災支援募金、ウクライナ支援募金▼八木崎保育所夏祭りボランティア▽校内献血  
 《美術部》▼春高祭で作品展▼県高校美術展出品▼修学旅行のしおり表紙イラスト制作

OB訪問

BYD Auto Japan(株)

社長 東福寺 厚樹氏(高28回)

自動車業界の激しい競争の中、  
手腕を振るう

◆会社について、社長として

4年前に、この会社に入った。その時はBYD JapanのAutoという名前はなく、EVバスの販売を行っていた。その輸入販売を行っていた会社に、乗用車部門が設立され責任者として採用され2022年から社長になった。私が入った2021年は、販売台数が72万台だった。それが去年は427万台になり、自動車事業としては、信じられないようなスピードで拡大している会社です。今の中国は、競争がものすごく激しい。自分たちがやれるスピードでやっているという負けてしまつて飲み込まれてしまうような激しい競争環境の中にあるんです。そのスピード感でリクエストが来る。



◆この業界に入った理由  
そんな中でも中国からのリクエストに対し日本に合うようにアダプトし、皆が動きやすいように整える窓口にもなっている。

◆この業界に入った理由  
くだらない話ですが、高校時代から体がでかく、身に付けるものは大きく、靴は当時で8センチ普通の靴屋さんにはなかった。

フォトレポート



日本テレビ「news every.」で「応援に青春ささげた高校生たち！埼玉県立春日部高校の応援指導部に密着！」が昨年夏に放映され、多くの同窓生ばかりでなく、一般の方々も関心を寄せ反響を呼んだ。日本テレビ報道局でnews every.のデスクをしている町田巨樹氏(高57回)が企画を提案し、放送に至った。

横浜市生まれ、大宮東中から春高。1981年早稲田大学商学部卒業、三菱自動車工業(株)入社、イリノイ大学企業留学、1996年Mitsubishi Mortar Manufacturing of America 駐在、2005年三菱オートクレジットリース(株)社長、2007年Mitsubishi Motors Australia 駐在、2009年三菱自動車工業(株)中東アフリカ部。2011年53歳でVolkswagen Group Japan(株)、2016年Volkswagen Japan Sales(株)社長。2020年MSX International BMW。2021年BYD Japan(株)で乗用車事業本部長、2022年BYD Auto Japan(株)代表取締役社長。趣味はロードバイク。

を聞いた上で私の意見を伝える。今はどういう状況で話をしているのかをできる限り正確に知りながら、まずはその人の話を(せ)として、その上で方向感があつているのか全体としてはどうなのかを私から助言し直していく。話をする人の考えや状況を聞くようにしている。

◆高校時代の思い出

春高祭の時にプロレスをやりました。その時のメンバーがバンザイ同盟のやつらです。いくなれば悪ガキ仲間ですね。受けましたね。

◆メッセージ

春高応援指導部が取り上げられないストーリーでした。良き伝統をつないでバトンをつたしている。伝統校の強みで大きな魅力とあります。3年間とはいえず、志をもって仲間といつしよに学ぶ、後から振り返ると得難い3年間、十分に楽しんで悔いのない3年間を過ごしてほしい。

同窓ゴルフ大会結果

◆令和8年春季大会 4月16日(木)千葉カントリー川間コースにて開催 92名参加  
結果はホームページに掲載  
令和8年秋季大会は10/8

同窓囲碁クラブ大会結果

◆令和7年秋季大会 11月3日(月)春日部高校にて 26名参加 優秀賞 石川勝氏(高15) 戸井田哲氏(高17) 岸本善一氏(高23) 奥村裕一氏(高27) 小山欣一氏(高30) 中島光貴氏(高70)  
指導講師 金秀俊九段と女流棋士の兆乾三段  
令和8年春季大会は5/24

みんなの広場 バンザイ同盟は春高から生まれた?!

早稲田大学に「バンザイ同盟」というサークルがある。合格発表の会場や、結婚披露宴などでバンザイを叫ぶ何ともユニークなサークルである。

去年の12月、NHK Eテレの番組「阿佐ヶ谷アパートメント」で、そのルーツが紹介された。初代代表を辿っていくと、何と高28回の島田政男さん。

早稲田大学からNHKに入局。アナウンサーとして活躍した。高校時代、授業がカットになった時、教室内で「バンザーイ！」とみんなで叫んでいたのが始まりという。

TV初出演は、昭和51年、NHK教育テレビ「若い広場」で、15秒を4回放送したのが、「バンザイ同盟」誕生の瞬間だった。勝利のバンザイ、歓喜のバンザイ、不滅のバンザイ、孤独のバンザイと4パターン作った。

その後、一浪して早稲田に入学した島田さんは、「早稲田大学バンザイ同盟」として、正式に立ち上げた。設立当初は、雑誌などに大々的に紹介され、TV、ラジオには何度も出演し、「ユニークサークル」の一番手として、キャンパスの人気を博した。調子に乗ってシングルレコードまで出すが、これは全く売れなかった。



(写真右が島田さん)

あれから50年、今では、バンザイのパターンも増え、700種以上と後輩たちが活躍している。

島田さんは、こう語る。「当時、目立ちたい！という一心で始めたものが、半世紀経っても脈々と続いていることに、正直、驚いています。今なお、その精神がうけつがれていることを、とても嬉しく思います。バンザイ同盟は、春高の教室から生まれたんです！」

叙勲者紹介

◆令和7年秋季の叙勲  
・関根勝氏(高16回) 瑞宝小綬章を受章  
早稲田大学名誉教授 越谷市在住  
・関根光二氏(高23回) 瑞宝双光章を受章  
元蓮田市副市長 草加市在住

令和8年春季の叙勲

同窓会HPに掲載

恩師訃報

▽藤倉濟先生(理科 昭38年(昭54年) 令和7年12月ご逝去(高6回)  
▽島村満彦先生(英語 昭39年(昭56年) 令和7年4月ご逝去(高1回)  
▽中村三恵博先生(理科実教 昭53年(昭55年) 令和7年2月ご逝去  
▽国谷明正先生(数学 昭52年(平1年) ご逝去

音楽ホール改修・N響コンサート令和8年度は見送り

令和8年度に春高音楽ホール(セントニアルホール)修繕の工事が入り、施設の利用ができなくなる。おおよそ1年間かけての工事となる。昨年度まで開催していたN響コンサートは今年度の開催は見送り、令和9年度には春と秋の2回開催を予定している。

当面日程

5/23本部役員会、5/24同窓囲碁大会、6/5春高祭オーブニングセレモニー(講演者予定 佐野バビ氏 高50回)、6/6・7 春高祭、6/28同窓会総会(活樹ふれあいキューブ マツナガ(旧ふれあいキューブ))

編集後記

2月の衆院選では、3名の同窓生が立候補し当選した。ところで、その選挙と同時に行われた最高裁判官国民審

事務局からお願い

住居変更の際には、住所変更連絡を事務局までお願いします。物故の方も判りの際には、連絡をください。同窓会費未納の方は、ご協力をお願いします。

会報編集委員

竹村義人(26回) 種村隆久(27回) 伊藤文生(27回) 山森一幸(27回) 関根務(27回) 中原淳一(33回) 内田浩平(41回) 添野光太(53回・地歴教員)